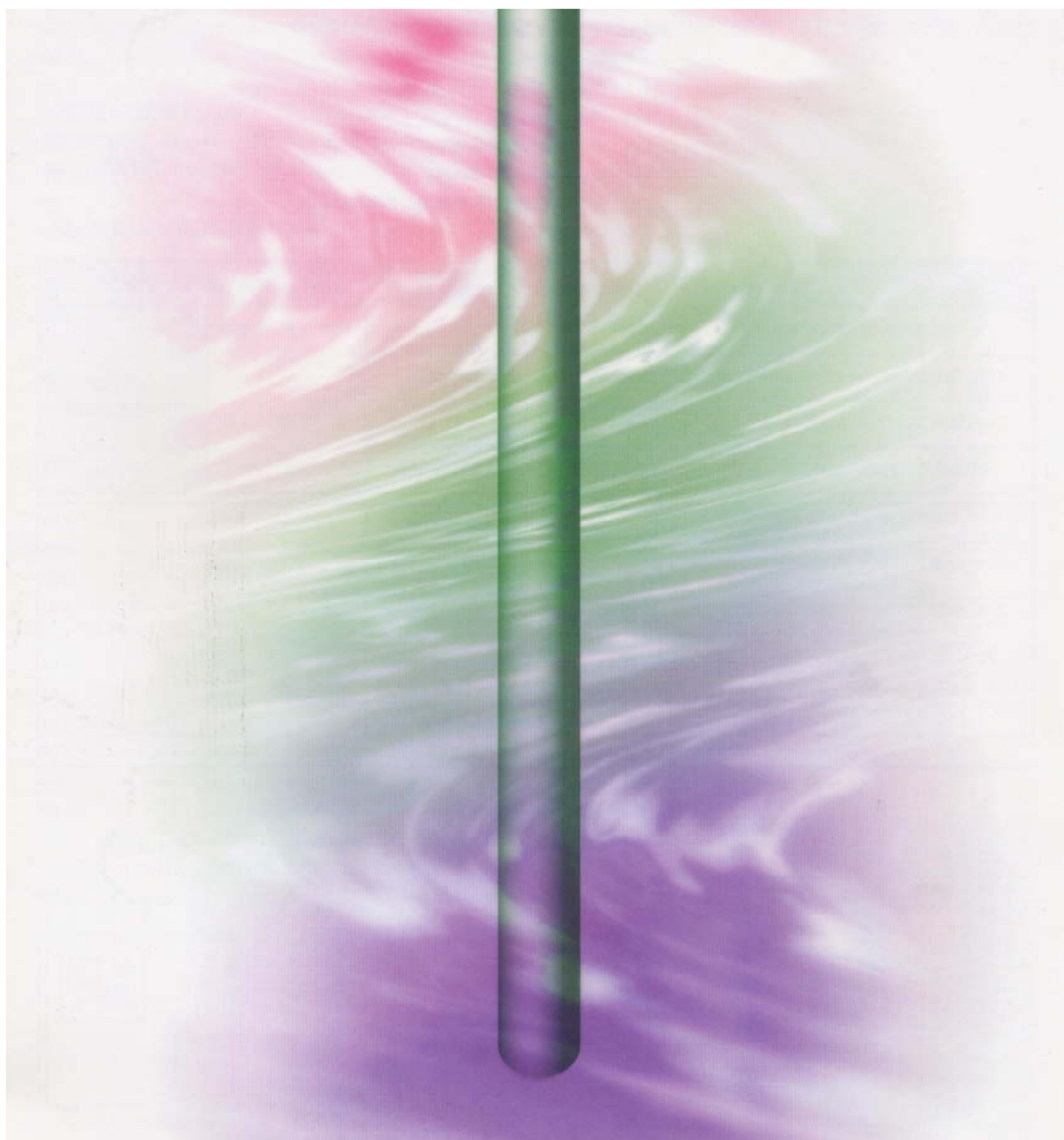


セ ン サ ー

2014年 1月号 第46号

東京温度検出端工業会 会報



年頭雑感

2014年1月

会 長 林 正 樹

皆様、新年明けましておめでとうございます。本年も会の運営にご理解・ご協力をお願い致します。

昨年はアベノミクスの効果で、円安・株高になりましたが、実体経済はというと、自動車等一部の産業で明るさが見えてきたものの、日本経済全体が浮揚してきた、というところまではいっていないのが実情のようです。特にアベノミクスの三本柱、金融緩和・財政出動・成長戦略のうち、最も重要と思われる成長戦略が、まだあまり実態が見えてこないのが気になります。また大企業と中小企業・地方経済とのギャップも大きいようです。

ところで私事ですが、昨年の年末から年始にかけて、新鮮な驚きを体験したことが二つありましたので、そのことを述べさせていただきます。

まず一つ目は WiFi（ワイファイ）のことです。世の中に WiFi なるものがあって、喫茶店などで接続機器が設置してあるのを見かけたことはありますが、何やら無線で端末とやりとりするらしい、ぐらいのことしか知らず、アナログ人間の自分には全く無縁のものと思っていました。昨年末、我が家のプリンターが駄目になったので家電量販店であれこれ物色していたところ、係員から薦められた機種が WiFi 機能付きでした。プリンターとスマートフォンを無線で接続すれば、スマートフォンで撮った映像をパソコンを介さず、直接プリントアウトできます、とのことでした。接続するための設定が厄介なのでは、と思ったのですが、係員が教えてくれた通りやってみると、あら不思議、簡単に接続でき、スマートフォンの画像が出力できるではないですか。設定や接続にストレスを感じさせないのは、本当に気持ちの良いことです。早速購入して、我が家で画像をプリントアウトして楽しんでおります。

二つ目の驚きは年始回りの途中で体験しました。昼食をとるために入った食堂で、係の人が席に案内してくれて、「ご注文はそちらの・・・をお願いします」と言いつつ、行ってしまいました。何と言ったのか良く聞き取れなかったのですが、テーブルの隅に大きなメニューと一緒にタッチパネル式らしい端末があります。成程、この端末から注文するのか、と思い、適当に操作していくと、メニュー1, 2, 3と次々に画面が変わっていき、それぞれの画面に定食やら丼ぶりの写真があらわれ、それぞれの品物のところに＋と－があって注文したければ＋をタッチして数量を確定して、最後に「注文する」をタッチすれば良いようになっています。これも操作に難しいところは全くなく、ごく自然に注文できました。同行者によれば、既に一部の居酒屋や回転寿司に取り入れられている、とのことでしたが、初めての人間にはちょっとした驚きでした。席に案内されたのに一向に注文をとりにこないでイライラしたり、逆にまだ決まっていないのに早く注文してくれ、と言

わんばかりの態度にプレッシャーを感じたりすることなく、自分達のペースで注文できて、なかなか良い感じでした。人手不足に悩んでいたりと、アルバイト店員にいたずら画像を投稿されはしないかと不安に思っている店舗にとっても、こういったシステムの導入は良いのではないのでしょうか。

これから団塊の世代が高齢化しますし、また2020年の東京オリンピックでは外国からの観光客が大勢やってくると思われますが、こういった誰にも使いやすい、使う側にストレスを感じさせないデジタル機器やシステムは大いに歓迎すべきで、もっと普及して欲しいものです。最近では老人の車の誤操作による交通事故も増えてきていますので、究極のシステムと思われる自動運転システムも、部分的でも良いので早く実用化して欲しいと思います。

最後になりますが、今年1年が皆様にとりまして良い年でありますよう、お祈り申し上げます。

会員紹介

各社の紹介記事を毎号二社ずつ会員名簿の順に掲載の予定です。

株式会社 アイコス

事業開始から満12年、現在はドイツ・Isabellenhuete社の温度計測・電気抵抗合金事業の日本国内総発売元として、他メーカー製品も併せて、輸入販売業務を主とした材料・部品分野での営業活動を行っています。

専門分野での技術サポートやマーケティングサポートを得意としており、取扱製品の範囲に限定することなく、技術的・商業的ソリューションを提供することで、仕入先メーカー・顧客の信頼を獲得し、単なる仕入販売にとどまらない、協力関係の確立に基づく相互発展を目指しています。

実績としてPS3（ソニー）や任天堂ゲーム機などで合金材料が採用され、現在はスマートフォンやカーエレクトロニクス向けの分野での需要拡大が進んでいます。

今後は新開発合金材料の市場調査・営業活動を計画しており、温度計測分野でもグローバル企業での新規開発プロジェクトが進行中で、現状は小規模ながらも今後は楽しみな企業です。

代表取締役：栗田文人

本社：東京都中央区銀座 6-6-1

銀座風月堂ビル 5F

TEL：03-5537-6040

石福金属興業株式会社

創業1930年。古宮誠一社長を筆頭に社員304名・資本金1億円・売上高749億円の会社です。

営業内容は、貴金属の地金売買及び回収・精製に加え取り扱う製品は1万種類以上。工業分野をはじめとして医療分野、宝飾分野などに製品を供給しています。

強みは、貴金属に特化していること、一貫生産体制であること、幅広い製品群を供給していることなどで、これらの特長を生かして高品質な貴金属製品を生み出しています。特に本工業会が属するセンサー業界へは貴金属熱電対を多く供給しておりますが、更なる需要増に繋がります様本工業会と同業界の発展を切望されています。

限られた資源である貴金属を有効に、かつ永続的に利用し、先端技術の進化を今後も支え続けていくために、チャレンジし続けている企業です。

代表取締役社長：古宮 誠一

本社：〒101 - 8654 東京都千代田区内神田3-20-7

TEL：03-3252-3131

草加工場：埼玉県草加市青柳2-12-30

営業所：大阪・名古屋・九州

新入会員紹介

昨年の理事会で承認され、以下の2社が新会員として入会されました。

社名：株式会社 石川製作所

住所：千代田区外神田 6-6-2

TEL：03-3836-5911

代表者名：石川 和成

社名：株式会社 日本サーモ

住所：府中市若松町 3-18-1

TEL：042-319-8511

代表者名：堀井 淳次

会の動き

- ◎平成 25 年 2 月 8 日 新春講演会 …… 参加者 29 名（17 社・団体）
会場：ハロー会議室（神田）
内容：メートル法の起源を探る
講師：尾出順氏
- ◎平成 25 年 2 月 8 日 新春懇親会 …… 参加者 33 名（19 社・団体）
会場：番屋（神田）
- ◎平成 25 年 6 月 7 日 第 39 回定時総会及び懇親会 …… 参加者 36 名（22 社・団体）
（懇親会は創立 40 周年記念祝賀会として実施しました）
会場：芝パークホテル
議題①第 39 期事業報告及び収支決算報告
②第 40 期事業計画案及び収支予算案審議
③理事会任期満了による改選投票
新理事会社（五十音順）
石福金属興業(株)、(株)岡崎製作所、助川電気工業(株)、
田中貴金属販売(株)、(株)徳力本店、二宮電線工業(株)、
林電工(株) …… 全 7 社
- ◎平成 25 年 6 月 7 日 第 40 期第 1 回理事会 …… 出席 7 社 8 名
会場：芝パークホテル
議題：会長職の選出
新理事会社にて新会長選出。出席全理事会社にて推挙。
林電工(株)林会長に継続して就任頂くことで決定。
- ◎平成 25 年 10 月 10 日 一日見学会 …… 参加者 29 名（14 社・団体）
見学先：①造幣局東京支社
②ANAメンテナンスセンター
- ◎平成 25 年 10 月 25 日 第 59 回技術懇談会 …… 参加者 19 名（9 社・団体）
会場：東京都立産業技術研究センター本部
東京都立産業技術研究センターの事業紹介及び研究紹介

一日工場見学会報告

林電工株式会社 浅野 一也

2013 年 10 月 10 日(木)、東京温度検出端工業会の見学会が行われました。

私自身、初めての見学会参加で今回は造幣局東京支局と ANA 機体メンテナンスセンターを見学させて頂きました。

造幣局東京支局は昨年発表された通り、2016 年度を目標に、さいたま新都心隣接地へ移転するとの事で今回が最後の機会だと思いますし、ANA 機体メンテナンスセンターも多く日本企業が製造に携わった、最新鋭機 B787 を見学できるかもしれないという事で普段なかなかないチャンスを頂けたので非常に楽しみでありました。

午前中は造幣局東京支局を見学しました。東京支局では主に収集用のプルーフ貨幣や勲章、金属工芸品の製造を行っているとのことでした。ここでは洗浄から検査までの製造工程を実際に見せていただき、展示室で完成品を見せていただきました。

まず驚かされたのは日本硬貨の偽造防止技術です。貨幣側面の周囲に斜めギザを施す技術は日本独自であるとのこと。潜像加工と合わせ非常に精密に製造されていて、硬貨一枚からでも改めて日本の技術力の高さを感じさせられました。

また、人の手による作業も非常に興味深いものでした。東京支局で製造されているプルーフ硬貨や勲章などはどうしても人の目に触れるものなので、傷ついてしまうのを避ける為、ひとつひとつ職員が機械や手作業などで作成するという事で、手間がかかる中でもきらりと光る職人技に感動すら覚えました。

午後は昼食後、ANA 機体メンテナンスセンターを見学しました。

ここではビデオで運航している機体の紹介の後、実際にドックインされてきた飛行機の点検を間近で見学させて頂くことができました。機体やエンジンなど大きさがわかる距離での見学は迫力があり非常にテンションが上がりました。ここでも多くの整備の方による徹底した点検が行われていて、大きな機体を機械ではなく人の目によって全てをチェックする凄さをまじまじと感じさせられました。

今回の工場見学を通して、作業のオートメーション化が進む中でもまだまだ人の手によって作業を行う重要性を改めて感じさせられるとともに、日本の技術力を垣間見ることのできる有意義な体験と貴重な時間を過ごさせて頂きました。

以上、乱文ですがご報告させて頂きます。

末筆ながら今回、このような機会を与えてくださった関係者の方々に心より御礼申し上げます。

以 上



造幣局



ANAメンテナンスセンター

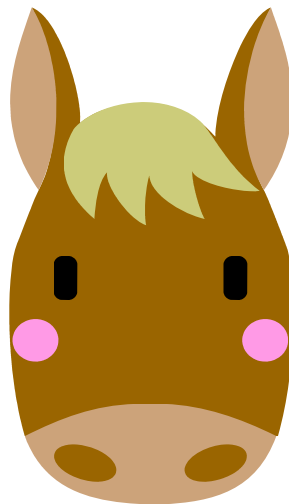
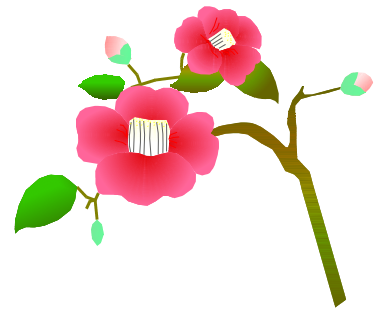
編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

例年より寒い年末年始となりましたが、皆様お風邪などお召しになられていないでしょうか？

今年は2月にソチオリンピック、6月にワールドカップブラジル大会が予定されております。日本人選手の活躍はもちろん、テロや事故等のない平和な大会であることを願います。

そしてもちろん、会員の皆様にとって良い一年になりますようにお祈りしています。



平成26年1月発行 No.46

発行所 東京温度検出端工業会

事務局

〒113-0021 東京都文京区本駒込6-5-5

林電工 株式会社 内

電話 03-3945-3151

FAX 03-3945-3130